

わが幼稚園だより

令和3年1月8日
南流山幼稚園

令和3年（2021）を迎えて

新春にあたりまして皆様に新年のお慶びを申し上げますとともに、2021年の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。



英語のことわざを一つ。New Year's Day is every man's birthday. (元旦は全ての人の誕生日である。) 願いをはっきりとさせる日、それが1月1日です。昨年の自分よりもっといい自分をめざし、新しく始まる新鮮さを体いっぱいを感じたいと思います。

大人が子どもにかなわないものが2つあると私は思っています。それは「若さ」と「素直さ」です。若いというだけで可能性があります。いくらでもチャレンジできる時間があります。素直さは子どもの特権です。時に大人としての分別臭い判断が子どもの素直さにより、ちっぽけに見えることがあります。うちの幼稚園の子どもたちは本当に素直です。将来が楽しみです。

コロナウイルス感染防止で私達の心は、揺れざるをえない日々が続いています。この3月に卒園（業）期を迎える年長さんや小学校6年生、中学校3年生、高等学校の3年生や短大や大学の学生さんにとっては少し寂しい卒園（業）式にならざるをえません。我々大人は、齒をくいしばって、つらさに耐え、次の展開に備えていきたいものです。何より大切なのは、自分ではなく、いかに他を思いやれるかだと思います。このコロナ感染のために多くの傷つき疲弊している人達がいることをまず考えたいと思うのです。このコロナ禍で実に多くのことを感じました。保護者の皆様の賢明さには、本当に感謝しています。誰一人、傷ついている人を詮索するような言動はありませんでした。本当は心の中では不安だし、詳細に知りたいと思っていたと思います。私達、幼稚園を運営する側としては、最大限の感染防止策と人権を守る思いやりの実践が必要です。ワクチンが今、世界で試されています。しかしながら心が傷つくとワクチンでは治せません。なお一層の思いやりを確固たる意思で実践していきましょう。医療関係者も、保護者の皆様も、そして我々職員も今まさに戦いの真っ只中です。終わりの見えない戦いですが、みんなで頑張っていきましょう。ファイトです。

